

1 単元 PROGRAM6 Let's Talk about Things Japanese

2 単元の見聞

- (1) 後置修飾を用いての言語活動に積極的に取り組もうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 後置修飾を用いて自分や身の回りのことを表現することができる。(外国語表現の能力)
- (3) 本文を聞いたり読んだりしてその内容を理解することができる。(外国語理解の能力)
- (4) 後置修飾を用いた文の構造を理解している。(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 生徒の実態 (男子*人, 女子*人, 計*人)

本学級には英語の学習に前向きに取り組む生徒が多く、ペアやグループでの言語活動に積極的に取り組んだり、教師と英語でのコミュニケーションを楽しんだり、意欲的な姿勢が随所に見られる。一方では、英語に対する苦手意識から学習意欲が高まらなかったり、ペアとの学習が円滑に機能しなかったりと、改善すべき課題を抱えている生徒もいる。

また、授業アンケートでは、「自分なりに授業に一生懸命取り組んできた」という質問に対して、「そう思う、まあ思う」と答えた生徒が96%に達することがわかった。一方、「わからないとき質問して解決しようとした」という質問に対して、「あまり思わない、思わない」と答えた生徒が22%に達することがわかった。そこで、前者を本学級の長所、後者を短所として捉え、それらの実態を念頭に置いて授業に臨みたい。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領に記されている「外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てるのに役立つこと」との点を踏まえ、日本の文化を英語で表現することをねらいとしている。生徒は自国文化についての知識はあっても、それを英語で表現するとなると、どのように述べればよいかの問題となる。相手の文化にそれに対応する概念がない場合は訳語を充てることはできず、説明を加えることになる。どのように表現すれば相手に的確に理解してもらえるかを意識しつつ、日本文化の発信というところに生徒の興味・関心が向けられることをねらいとしている。

言語材料は「現在分詞と過去分詞の後置修飾」が扱われている。これは、名詞(句)を後ろから修飾する英語特有の構造で、生徒にとっては理解するのが難しい文法事項である。また、次の単元で学習する「関係代名詞による後置修飾」を理解するうえで基礎となる事項であり、後ろから修飾するという構造をしっかりと理解させることが必要である。さらに、分詞の後置修飾を用いることにより、一文であっても人や物を詳しく説明できるようになるので、表現力をこれまで以上に高めることができると考える。

(3) 指導観

新出言語材料「現在分詞と過去分詞の後置修飾」の指導では、修飾される先行詞と後置修飾の部分とが「主語+述語」の関係にあることを確実に理解させることが重要である。そのためには、まず、ALTとの対話やICTを活用した導入で後置修飾の形を大まかに理解させたい。次に、口頭でのパターンプラクティス、初歩的なリスニングテスト、基礎問題を活用したドリルを繰り返すことで、後置修飾を用いた文の構造を理解させたい。そして、「書く活動」と「話す活動」を中心とした言語活動を取り入れることで、後置修飾についての表現力を高めたい。さらに、単元の最後に日本の伝統文化についてALTに説明する場を設けることで、「日本文化の発信」という意識を高めたい。

習得を見据えた指導の手立てとして、まず、普段の授業から、自分の課題が終わったら学習ペアを支援したり発展的な課題に取り組んだりすることを約束事とするなど、限られた時間を有効活用することで学習効果を高めたい。次に、英語が苦手な生徒に対しては、学習ペアや教師が積極的に支援することで、英語に対する苦手意識を軽減したい。そして、できる喜びや達成感を味わわせるために、積極的に丸つけ法を展開して生徒を称賛する場面を多く設定したい。さらに、前述した本学級の短所を改善するために、質問しやすい雰囲気作りに努めるとともに、生徒のつまづきに対しては教師側からもアプローチしたい。

4 指導計画(5時間扱い)

次	時	学 習 活 動	関	表	理	知	評 価 計 画
							評 価 規 準
1	①	自作補助教材My Planを活用して新出単語の意味や用法を調べる。	○			◎	新出単語の意味や用法を理解することができる。(My Plan)
2	②	現在分詞の後置修飾を用いて今何かをしている人を説明する。		◎		○	今何かをしている人を説明することができる。(My Plan, 観察, 発表)
	③	過去分詞の後置修飾を用いて日本名作を紹介する。		◎		○	日本の名作を紹介することができる。(My Plan, 観察, 発表)
	④	お祭りなどの日本の文化について紹介する。		◎		○	日本の文化について紹介することができる。(My Plan, 観察, 発表)
	⑤	ALTに口頭で日本の伝統文化を説明する。		◎		○	ALTに日本の伝統文化を説明することができる。(My Plan, 観察, 発表)

5 本時の指導

(1) 目標

- ・過去分詞の後置修飾について文構造や語法、文法などに関する知識を身に付けている。
(言語や文化についての知識・理解)
- ・過去分詞の後置修飾を用いて日本の名作を紹介することができる。
(外国語表現の能力)

(2) 準備・資料

My Plan(自作補助教材), ワーク, TV, PC, デジタル教科書, 学習カルテ

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点(○は個への配慮)と評価
<p>1 既習内容を用いてウォームアップをする。</p> <p>(1) LET'S CHAT 自由な雰囲気です英会話をする。</p> <p>(2) THE CHANTS 既習の重要言語材料を歌とリズムで復習する。</p> <p>(3) SUPER INPUT 既習の重要文を口頭で復習する。</p> <p>2 前時の学習内容を復習する。 既習の単語と現在分詞の後置修飾について確認する。</p> <p>3 本時の課題について学ぶ。</p> <p>(1) 新出単語を確認する。 sung, heart, originally, cup(s), pin, yo-yo</p> <p>(2) 本時の課題を導入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Who is he? B: He is Inoue Takehiko. A: Yes. He is very famous. What is the title of the comic? B: It's SLAM DUNK. A: Yes. It's a very popular comic. SLAM DUNK is a comic <u>drawn</u> by Inoue Takehiko.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>A L Tに日本の名作を紹介しよう!</p> </div> <p>(3) パターンプラクティスを通して課題を口頭で練習する。</p> <p>(4) 初歩的なリスニング問題に取り組む。</p> <p>(5) ワークを活用して基礎問題に取り組む。</p> <p>(6) My Planを活用して日本の名作について英作文する。</p> <p>(7) 作成した紹介文を発表する。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>(1) パターンプラクティスを通して本時の課題を再確認する。</p> <p>(2) 学習内容をノートにまとめる。</p> <p>(3) 学習カルテを活用して本時を振り返る。</p>	<p>指導上の留意点(○は個への配慮)と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着度を高めるために、話す活動を中心とする帯活動を毎時間実践する。 ・英語学習の雰囲気を作るために、学習ペアと英語でのあいさつと簡単なQ&Aを行う。 ・雰囲気を盛り上げるために、リズムに合わせて大きな声で歌うよう助言する。 ○英文を読むことが苦手な生徒に対しては、学習ペアや教師が範読を示す。 ・定着度を高めるために、できるだけ英文を見ないで取り組むよう助言する。 <p>・過去分詞の後置修飾を円滑に導入するために、現在分詞の後置修飾について再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語の定着を図るために、繰り返し練習する。 ・集中力を高めるために、リズムカルかつスピーディーに行う。 ・導入において生徒の関心を高めるとともに、視覚的な面からも理解を促すために、映像や写真を活用する。 ・課題に気付かせるために、重要な部分は強めに、はっきり、繰り返し発音する。 ・学習効果を高めるために、意図的編成ペア・グループを活用する。 ・課題の達成状況を確認するために、積極的に丸付け法を展開する。 ・できる喜びや達成感を味わわせるために、課題を達成した生徒を大いに称賛する。 ○個別にヒントを与えるなど、英語が苦手な生徒を中心に支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(評) 過去分詞の後置修飾について文構造や語法、文法などに関する知識を身に付けている。 (観察, My Plan, 発表)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(評) 過去分詞の後置修飾を用いて日本の名作を紹介することができる。(観察, My Plan, 発表)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い英文を書くために、積極的に辞書を活用するよう助言する。 <p>○自信と学習意欲を高めるために、生徒の努力を大いに称賛する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をしっかりと振り返るために、できるだけ詳細なコメントを記入するよう助言する。